

NEWS

無料化へGO



2月2日、記者会見を行い、高速道路無料化社会実験の詳細について発表しました。野党時代から私に取り組んできた大きな政策が、実現に向けいよいよ動き出すこととなります。

今年は段階的無料化のその初年度として社会実験を行います。実験開始時期は、料金システムの改良などにかかる準備期間を勘案して設定されますが、今年6月をメドに平成23年3月までを第一段階の実験期間として行われます。

◆予算の制約

無料化社会実験の予算については昨年の概算要求で6000億円を要求しましたが、厳しい財政状況の下、初年度は1000億円ということで決着しました。

1000億円という予算の制約の下、初年度の実験は①首都高速、阪神高速道路を除く高速道路、②休日上限1000円割引による渋滞発生頻度、③鉄道、船舶、航空など他の交通機関に与える影響、④有料区間・無料区間の連続性など高速道路ネットワークの状況を総合的に勘案して対象となる区間を決定しました。ただし東京、名古屋、大阪という3大都市圏と札幌、仙台、広島、福岡の各都市圏内の路線。また、これを相互に連絡する路線、並びにこれと県庁所在地を結ぶ路線は、渋滞等が予想されることから除きました。

無料となる路線は、これまで一部の報道にあったような特定の区域に限定されるものではありません。北海道、東北、北陸、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄すべての区域に網羅され、合計で1626kmに及びます。これにより首都高、阪高を除く高速道路全体の約18%が無料になります。また、これまでの割引はETC搭載車の

みを対象としておりましたが、今回は現金車も含み、その恩恵が広く及ぶこととなります。

◆実験の効果

一部報道では、今回の社会実験が細切れの区間ばかりであり、1000億円という予算に見合う経済効果すら期待できないのではないかと懸念が示されています。しかし、全国にはいわゆる「新直轄道路」などの無料で走ることができる路線が散在していますので、今回の実験路線と合わせて無料化の路線がつながることになります。このため、一般道路から高速道路へ交通が転換し、高速道路利用者は約3割増加すると想定しています。これにより目的地への走行時間の短縮や交通事故の減少などで、ドライバーが受ける直接的な便益だけで年間1500億円の効果が見込まれています。

他方、CO2排出量の増加等による環境悪化への懸念も示されていますが、繰り返し説明しているとおり、一般道路から高速道路への交通の転換により、CO2等の排出の大きな原因である一般道の信号待ちや渋滞で繰り返されるストップ・アンド・ゴーが大幅に減ることにつながります。また、無料化により誘発交通が発生し、CO2が増加するとの主張も成されています。誘発交通がどれだけ発生するかは科学的に予測する有為な手法が存在しないのが実情です。今回の社会実験においては交通量調査により誘発交通の実績を計測することも検討しており、CO2排出量が増えるか減るかの論争に終止符を打つことができるかもしれません。社会実験には様々な効果が期待されているのです。(了)

まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742 (40) 5531

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
 （政治資金管理団体に同じ）
 会費：年間寄付金（一口）10,000円
 会期：一年間（政治献金）



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様の一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年間寄付金（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

入会のお申込、詳しいお問い合わせは

まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

スタッフ日記

これが生の政治だ！

はじめまして。2月から議員会館の馬淵澄夫事務所にインターン生としてお世話になっている通称：特命係長です。北海道出身、生粋の道産子であります。私は政治家を目指し、政治に直接関わるため、いや、馬淵副大臣に直接会うために上京してきました!!

と、言いたいところではあります…申し訳ありません。私は、試験前にだけ必死に勉強する、二十歳を迎えた普通の学生でございます。

しかし、そんな自分を変えてくれたのがこのインターンでした。

政治に関して興味はあるものの、“政治”というものは、なかなか直接関わってみることはできないものだ、と考えているのが現代の若者であり、私もその中の一人でした。

でも、朝のミーティングや政策会議に出席したり、政治と関わる人達とたくさんお話をしたり、それから代議士と昼食で鍋をつついたりする中で「生の政治」に触れ、政治によって世の中が動いているという新たな世界観を持つことができました。そこから得る経験は全て「人生の財産」となって私の人生観をガラッと変えてくれています。今の私は「政治家」を目指し、代議士に続こうと必死に食らいついていく学生として充実した日々を送り、インターン活動に躍起になっています。チャンスはいくらでもある。そのチャンスさえモノにすれば、人生を変えることができる、そんなことを実感する毎日です。

生の政治。チャンスをモノにして、人生を変えてみてはいかがですか？（特命係長）

週間活動報告

- 30 土 帰奈、県連常任幹事会、藤本孝幸市議新春の集い
- 31 日 上京、シビックミーティングin東京
- 1 月 【挨拶】命と生活を守る新国土づくり研究会、本会議、定例記者会見、記者懇談会
- 2 火 決裁（都市局、道路局）、日本バス協会、建築基本法制定準備会、代議士会、高速道路無料化記者会見、第13回国土交通省政策会議、記者会見
- 3 水 建築学会、決裁（総合海洋政策事務局、官房会計課）、大臣レク、政務三役懇談会
- 4 木 予算委員会答弁準備、レク（住宅局、河川局）、第13回副大臣会議、民主党国土交通委員会理事・委員との懇親会
- 5 金 予算委員会答弁、大臣レク、国土交通省成長戦略会議

衆議院
議員

馬 淵 澄 夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院 第1 議員会館 437号室
TEL 03 (3508) 7137 FAX 03(3506) 3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）
〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
TEL 0742 (40) 5531 FAX 0742 (40) 5532